

提 案 事 項

熱 河 省 公 署

一、省公署廳舍新營ニ關スル件

熱 河 省 公 署

備考 一、都市計劃ニ依ル豫定地價格約四、五〇〇圓ヲ要ス

二、建築費ニ就テハ設計ノ上豫算ニ計上

理由 一、元年度ヨリ實施中ノ都市計劃ニ依リ當然現廳舍ハ除去サルヘキ位置ニアルコト

二、熱河省定員ニ依リ所要面積四、〇〇五平方米（民政部訓令第四一〇號ニ依ル）ニ比シ現廳舍面積ハ約二、七〇〇平方米ニ過キス事實上廳舍不足ノ爲困惑致シアルコト

ニ難民救済費ニ關スル件

熱河省公署

康德三年度難民救済費豫算額	康德元年度難民救済費額
一四四六〇〇石(新度量衡)	糧穀 二三六三石(新度量衡) 現金 七八〇二二圓

説明 昨年ノ難民數ニ付キ各縣ノ調査報告ヲ合計スレハ三八〇一八五人ノ多數ニ達シ實ニ本省全人口二六三二、一五一一人ノ一割四分四厘ニ當レリ、救済ニ際シテハ人民ノ依頼心ノ誘發ヲ極力警戒シ以テ自立精神ヲ善導スル方法ヲ採レリ本年ハ水災雹災蟲災匪災及北部一帯ノ旱害ノタメ難民數ハ三二〇、〇〇〇人ヲ下ラサルモノト推定サル是等難民ハ來年四月以降七月ノ四ヶ月間糧食窮乏甚シキヲ以テ之カ救済ヲ必要トス、然ルニ本年ハ各縣ニ義倉ノ設立アル見込ナルヲ以テ救済期間ヲ三ヶ月間ニ短縮シウルモノト考ヘラル而シテ救済程度ノ標準ハ漸ク人民カソノ生命ヲ維持スルト共ニ最小限度ノ耕作能力ヲ發揮シウル程度ニ止メタリ、然ルニ一人一日平均ノ食料ハ新度量衡ノ五合ヲ至當トス、以上ノ標準ニ基キ計

算スルニ來年度ノ難民救済糧穀數ハ一四四、六〇〇石トナル之中一部ハ散放ノ要アルヘキモ大部分ハ貸付ヲナシ返済額ハ縣ノ義倉積穀トナスヲ社會政策上妥當ナリト思料ス

三 警察官ノ待遇改善ニ關スル件

熱河省公署

警察官ノ待遇改善ハ警察官ノ素質並ニ地位ノ向上ニ最モ必要ナル條件ニシテ待遇ノ良否ハ直ニ警察機能ニ大ナル影響ヲ及ボスモノナルニ堪ヘサルモノアリ、即チ警士一人最低五圓五角、最高拾圓平均八圓七角ノ寡額ニシテ國費支辦警察官トノ間ニ多大ノ懸隔アリ斯クテハ到底治安ノ重責ヲ負フ適格者ヲ得ルコトハ至難ニシテ之カ改善ハ目下ノ急務ナル處各縣ニ於ケル康徳二年度警察豫算別表ノ通りニシテ青龍縣ニ於ケル三〇%ヲ最低トシ藥平縣ノ四九、八%ヲ最高トシ平均四七、五七%ノ多額ヲ占メ居レリト雖仍警察官ノ待遇別紙ノ通ニシテ現在ノ縣財政力ヲ以テシテハ此ノ上警察費ノ増加ハ到底堪ヘ得ラレサル状態ニ在リ且ツ本省境界ノ過半ハ民國ニ接壤シ邊疆治安ノ如何ハ直ニ隣邦四万々民衆ニ反映スル所ニシテ警察ノ整備ニツキテハ特別ノ考慮ヲ要スルモノナルニ鑑ミ康徳三年度豫算編成ニ際シ

テハ特ニ國庫ヨリ行政補助増額ヲ仰キ警察官ノ待遇ヲ平均月俸警士十五圓警長二十五圓巡官四十圓警佐六十圓程度ニ引上ケ全面的ニ物質、精神兩方面ヨリノ待遇是正ノ道ヲ講シ以テ警察官ノ地位向上ヲ期シ度ニ付康徳三年度ニ於ケル縣豫算査定ニ方リ右ノ標準ニヨル給與ノ改善ヲ認メラレ相當額ノ行政補助費ノ増額ヲ希望ス

別於第一號

廳縣別警察職員給與比較

廳區 縣別	警 佐			巡 官			警 長			警 士		
	最 高	最 底	平 均	最 高	最 底	平 均	最 高	最 底	平 均	最 高	最 底	平 均
承德	11000	8000	9833	6000	3500	4304	2500	2000	2073	1500	900	1101
懷平	5000	1500	2570	2500	950	1488	1500	650	900	1000	550	675
豐寧	8000	2500	3779	4000	1600	2053	1400	1000	1209	1500	800	830
隆化	6000	4000	4375	6500	2000	2543	1500	700	817	1100	600	738
圍場	14000	3000	3383	3000	1400	2283	1800	1000	1138	1200	700	844
赤峰	0000	4000	4833	3000	2000	2453	1900	1000	1441	1250	700	1003
建平	4500	4000	4333	2600	2000	2392	1800	1500	1524	1000	1000	1000
凌源	5500	3000	3888	4000	2500	2810	3500	1000	1728	1500	800	913
凌南	6000	4000	4375	3000	2000	2105	1500	1300	1307	850	750	814
青龍	6500	4000	4346	3500	2000	2639	1800	1000	1181	800	600	639
平泉	4000	3000	3375	6000	1700	2844	2200	1000	1600	1600	900	945
寧城	4000	3000	3571	3500	1500	2264	2000	1200	1257	1100	600	776
全 省	11000	1500	4377	6500	950	2518	3500	150	1342	1600	550	879

別表第二號

熱 河 省 各 縣 警 察 費 負 擔 當

(康 德 二 年 六 月 末 日 現 在)

縣 名	面 積	戶 數	人 口	一 万 軒 當 人 口	豫 算 總 額	警 察 費 豫 算	同 比 率	人 口 一 人 當 負 擔	警 察 官 員 定 員	同 一 人 當 經 費
懷 平	5220 方 軒	32515 戶	154551	29.6 人	105998.00 元	52868.00	49.87	0.342 元	234	22.59 元
豐 寧	11300	49877	210960	18.5	12288000	5530000	45.00	0.262	325	17.02
隆 化	5250	29770	112143	21.3	14128000	50778.00	35.94	0.452	233	21.79
圍 場	9780	39812	186464	19.0	181816.00	57810.00	37.29	0.363	327	20.74
赤 峰	17160	45012	206942	12.0	27656000	119839.00	43.33	0.579	448	26.75
建 平	16680	51284	220343	13.2	173539.00	84760.00	48.84	0.384	416	20.38
凌 源	4940	60505	306174	61.9	166113.00	57495.00	34.61	0.187	291	19.76
凌 南	5300	56308	232896	43.9	197942.00	70690.00	35.71	0.303	290	24.38
青 龍	4870	46739	284079	58.3	182667.00	71700.00	39.25	0.253	360	19.92
平 泉	5870	59437	219593	37.4	186120.00	56184.00	30.18	0.255	315	17.84
寧 城	1830	34561	202071	11.0	137876.00	48596.00	35.24	0.240	248	19.60
計 又 八 平 均	95020	505821	2336216	24.5	1872791.00	736020.00	39.30	0.243	3487	20.56

四、熱河省康德三年度要施設通信計畫ニ關スル件

一、本省通信網ノ現況

熱河省公署

本省ニ於テハ康德元年度以降主トシテ治安維持會資金ヲ以テ各縣縣
內警務局及警察署乃至分駐所ヲ連絡スル警備電話網建設セラレント
雖モ現ニ各縣相互間並省公署間ハ勿論隣接省縣及省境並國境接壤地
域ニ之レカ施設ナキ現狀ナリ、然レトモ當省ハ他省ニ比シ通信施設
ニ著シキ遜色アルニ不拘而モ之ヲ最モ必要トスル特殊事情ヲ有ス即
チ本省ハ山岳重疊シ加フルニ前期ニ入ランカ毎年長期ニ亘リテ河川
氾濫シテ屢々交通杜絶ニ陥リ通信不能ノ狀能ク現出スルヲ常トス而
シテ是等山岳地帯ハ好橋ノ匪賊蟻踞地トシテ治安上憂慮スヘキ現狀
ニアリ他面長距離ニ亘ル國境線ヲ保有シ對内ニモ對外ニモ通信
施設ノ完備ハ現下ノ最大急務ナルニ不拘現ニ縣公署所在地ニシテ電
報局ノ設置ナキモノ青龍、寧城、凌南、三縣ヲ數フ殊ニ青龍縣ノ如
キ普通郵便物ノ往復ニ冬期ニ於テ十日間隔期ニ入ランカ一月ヲ要
ス斯ノ如ク通信ノ敏活ヲ缺キ又ハ不能ノ國事務ノ遲滯甚シキモ

アルノミナラス省内治安維持更ニ國境線確保上敍上各縣相互間及省
公署間ハ勿論隣接省縣間並省境及國境接壤地域ノ通信施設ハ焦眉ノ
緊急問題ナリ

二、康德三年度要施設警備電話

(一) 區間、距離並架設ヲ必要トスル具體的理由

別表 (第一表) ノ通

(二) 建設費概算

別表 (第二表) ノ通

(三) 建設費料當概算

別表 (第三表) ノ通

三、無電機ノ設置

通信施設ノ著シク遅レタル本省ニ於テハ未タ管下警察用無電機ノ設
置セラレタルモノナク現ニ管下唯一ノ通信機關タル警備電話モ前項
記載ノ如ク僅ニ縣內警備機關ヲ聯絡シタルニ過キス而モ各縣ハ之レ
カ架設ニ當リ小額經費ヲ以テ急設シタル爲メ組材構造不充分ニシテ

長距離通話不能且ツ故障頻出スル現狀ニ鑑ミ現ニ縣公署所在ニシテ
電報局ヲ有セス而シテ本省僻遠ノ地タル青龍、寧城、凌南、三縣ニ
對シ各縣相互間及省公署同僚備專用電話ノ架設セラルル迄ノ僚備用
補助通信機關トシテ短波二十ワツト無電機各一基ヲ緊急設置スルコ
ト絶對ニ必要ナリ

第一表

康德三年度熱河省警備電話架設計畫線表

架設順位	區間	距離	架設ヲ必要トスル具體的經由	備考
一	自承德 至赤峰	三三二杆	本區線ハ省公署並平泉、寧城、赤峰各縣ヲ連絡スル外右各縣相互間ヲ連絡スル重要幹線ニシテ同地方ニ於ケル現下ノ治安情況及寧城縣ノ如キ縣城所在地ニシテ電報局ノ設置スラナキ通信無施設且ツ交通不便ノ現狀ヨリ見テ之レカ架設ハ刻下ノ急務ナリ	新設復線內承德、平泉間一〇三杆康德二年度ニ於テ竣工スヘキヲ以テ之レカ電柱ヲ利用ス
二	自承德、 凌源、 葉柏壽 至建平	三〇六杆	本區間ハ承德、凌源、建平各縣相互間及右各縣及省公署ヲ連絡スル重要幹線ニシテ加フルニ建平縣ノ如ク錦州省ニ接界シ治安情態良好ナラサル同地方ニ於テハ之レカ架設ハ治安上緊急事ナルノミナラス、本省及錦州省連絡ノ最捷經由線トシテ重要ナリ	新設復線內承德、凌源間二〇四杆（康德二年度竣工）電柱利用
三	自凌源、 深南 至錦西（ 錦州省）	二一八杆	凌源、深南ノ各縣ハ兩縣ヲ中心トスル近接縣相互間並各縣及省公署間ヲ連絡スル幹線トシテ重要ナルノミナラス更ニ之ヲ錦西ニ延張スルコトニヨリ省境トシテノ兩縣、治安維持並兩省各般ノ事務連絡上缺クヘカラス	新設復線
四	自葉柏壽 至錦西（ 錦州省）	一〇二杆	本區間ハ建平縣及隣接朝陽縣（錦州省）ヲ連絡シ兩省警務ヲ連絡ニ資スル外兩縣（省境）境ニ蟠踞シ絶ヘス兩縣下ヲ脅シツツアル匪賊ヲ掃蕩シ省境ヲ肅正スル等兩縣ヲ中心トスル各縣ノ連絡ニ資スル爲必要ナリ	新設復線
五	自平泉 青龍 至喜峰口	二〇〇杆	本區間ハ本省ノ最僻地青龍縣ト平泉縣ヲ連絡シ之ヲ省公署ニ連絡セントスルモノニシテ日常警務ハ勿論非常事變其他治安上之レカ架設ハ最も必要ナルノミナラス青龍縣ト國境警務隊ノ所在地喜峰口ヲ連絡スルハ國境線確保並青龍縣內治安維持上必要缺クヘカラス	新設復線
六	自承德 下 至 至	一七三杆	本區間ハ承德縣ノ東部ヲ南下トシテ青龍縣ノ境喜峰口ニ連結セシメントスルモノニシテ之レカ實現ニヨリ省公署所在地トシテ重要ナルノミナラス治安上最モ不便且ツ國境線ヲ有スル警備隊ヲ連絡シ國境線確保、日常警務連絡上資スル所多カルヘシ	新設復線
七	自承德 興州 至豐寧	一〇二杆	本區線ハ承德、凌平、豐寧間ヲ連絡シ是等國境接壤三縣相互並省公署間連絡重要幹線ヲ建設セントスルモノニシテ北支ノ狀勢等對外的ニモ治安維持其他日常事務聯絡ノ上ヨリスルモノ之レカ完成ハ絕對ニ必要ナリ	新設復線 內承德、興州間四〇杆（康德二年度竣工） 電柱ヲ利用

八	九	一〇	一一	一二
目 隆化 至 豐寧	目 赤峰 烏丹城 至 林西	目 赤峰 至 建平	目 四家子 金廠溝 梁寶國 圖溝 至 下窪	目 建平 蔡園子 小河沿 至 曲家 溝子
六九杆	二七六杆	一〇二杆	一六一杆	二〇四杆
<p>本區線ハ豐寧縣ニ北接スル隆化縣ヲ連絡シ南ハ河北省ニ西ハ察哈爾省ニ接シ省内隨一ノ廣大ナル面積ヲ有シ對內的ニモ對外的ニモ營業上ノ重要ナル地位ヲ占ムル豐寧縣ノ治安強化ヲ圖ル爲メ兩縣ノ相互聯絡ヲ密ニセントスルモノニシテ之レカ架設ハ最モ必要ナリ</p>	<p>本區線ハ赤峰、東北部ノ要地烏丹城ヲ經テ興安西省林西ヲ連絡シ赤峰、林西兩縣ノ連絡ヲ密ニスルコトニ依リ赤峰、北境ヲ強化シ本省北部ノ治安維持ニ資セントス</p>	<p>本區線ハ本省東北部、赤峰、建平兩縣ヲ連絡シ興安南省及錦州省境ノ治安確保ニ資スルト共ニ一面同地方ニ對スル一般警務ノ聯絡上最モ重要ナリ</p>	<p>本區線ト匪賊ノ蟠踞地トシテ知ラルル東部省境建平縣ト錦州省朝陽縣ノ縣境ヲ肅正シ兩省治安維持ノ根本問題解決ニ資センカ爲メ建平縣城ノ東部西家子ヨリ省境線ニ沿フテ下窪ニ至ル一線ヲ設ケントスルモノニシテ現下ノ情勢ニ見テ之レカ實現ハ緊急事ナリ</p>	<p>建平縣城ヨリ縣ノ中央部ヲ北上シテ蔡園子ニ出テ更ニ西折小河沿ニ至リ赤峰縣境ニ副ヒテ興安西省トノ境域ニ近接スル要地曲家灣子ニ對スル一線ヲ設ケントスルモノニシテ通信施設皆無且治安狀況良好ナラサル同縣ニアリテハ治安維持上之レカ架設ハ最モ必要ナリ</p>
新設復線	新設復線	新設復線	新設單線	新設單線

第二表

建設費概算表

架設順位	區	間距	離	建設費概算	備考
一	承德—寧城—赤峰	三三二杆	四六四五	一〇八	新設複線承德、平泉間舊電柱利用又
二	承德—凌源—葉柏壽—建平	三〇六杆	四四四三	一四	新設複線承德、凌源間舊電柱利用又
三	凌源—凌南—錦西	二一八杆	三三七四	四二	新設複線
四	葉柏壽—朝陽	一〇二杆	一五三一	三八	
五	平泉—青龍—喜峰口	二〇〇杆	三〇〇三八	〇〇	
六	承德—下板城—軍河口—喜峰口	一七三杆	二五九八	八七	
七	承德—興州—豐寧	一〇二杆	一五二五	三八	新設複線內承德、興州間四〇杆舊電柱利用
八	隆化—豐寧	六九杆	一〇三六	一一	新設複線
九	赤峰—烏丹城—林西	二七六杆	四一四三	四四	

一〇	赤峰—建平	一〇二杆	一五三一	一九	三八	新設複線
一一	四家子—全廠梁—寶國圖—下窪	一六一杆	一二二七	九五		新設單線
一二	建平—蔡園子—小河沿—曲家灣子	二〇四杆	一五四九	三	八〇	
合計		三〇八九	九九〇	九五		

線式杆當單價表

品名	數量	單價	金額	備考
糸口三寸	四〇本	一〇〇	四〇〇〇	
長サ二尺四寸	五〇本	二〇〇	一〇〇〇〇	
直徑三寸	四〇筒	一〇〇	四〇〇〇	
長サ四尺	二五〇疋	一四〇	三五〇〇〇	
曲柄二尺	二五〇疋	一四〇	三五〇〇〇	
B.S. #8 架線用	五疋	一四〇	七〇〇	
B.S. #8 支線用	五疋	一四〇	七〇〇	
B.S. #16 架線用	八本	一五〇	一二〇〇	
工費			三〇〇〇	
合計			一五〇、一九〇	

運賃ヲ含マス

合計

一五〇、一九

單線式杆管單價表

品名	數量	單價	價金	額	備考
四三寸 掛二寸四尺	二〇本	一〇〇	二〇〇	〇〇	
經三寸 掛四尺	二五本	二〇	五〇〇	〇〇	
筋二重	二〇箇	一〇	二〇〇	〇〇	
架組用	一二五疋	一四	一七五〇	五〇	
支 フ ワ ン ク	七五疋	一四	一〇五〇	五〇	
ハ イ ン ト	二五疋	一四	三五〇	三五	
ハ イ ン ト 冊	四本	一五	六〇	六〇	
費		一五	一五	〇〇	
費		五	五	〇〇	

運賃等々マス

合計

七五、九五

五 警察整備費國庫補助ニ關スル件

(一) 本省警察官ノ素質並教養程度

本省ハ建國後一年熱河肅正後ノ創設ニ係リ本格的ニ警察ノ整備充實ニ着手シタルハ大同二年末ニシテ既ニ其出發點ニ於テ他省ニ立遅レノ感アルノミナラス由來本省ハ特殊地域トシテ文化ノ程度低ク加フルニ地方財政窮乏等ノ爲メ給與低ク從ツテ警察官ノ素質學力程度共ニ劣惡到底警察ノ機能ヲ發揮シ能ハサル狀態ニアリ無能老朽文盲ノ淘汰ハ寸刻ヲ猶豫シ能ハサル實情ナリシヲ以テ康徳元年五月主トシテ治安維持會ノ經費ヲ以テ各縣ニ警察官練習所ヲ設置爾來之ノ實現ヲ圖ラントシタルモ縣財政窮乏ハ之ヲ積極的ニ遂行セシムルコトヲ許サス其ノ結果別表ニ示スカ如ク本年八月末現在ニ於ケル各縣警察官四〇一四名中所謂文盲一、三七七名氏名ヲ自署シ得ル程度ノ者五八七名ニシテ文盲ト稱スヘキ程度ノ者合計一、九六四名總人員ニ對シ四割八歩ヲ占ム其他ハ文字ヲ解シ得ル

(二) 整理ヲ要スル文盲

一、三七七名

(三) 教育並整理計劃

文盲整理ニ伴フ新採用警士教育計劃別表(第一表)ノ通

(四) 文盲整理ニ伴フ補充人員教育費並退職手當概算

別表(第二、第三表)ノ通

(五) 補習教育費概算

別表(第三表)ノ通

(六) 各種警察官學力調査表

別表(第四表)ノ通

第一表

文盲整理ニ伴フ新採用醫士教育計劃表

縣別	要教育人員	每期教育人員	教育期間	同數	備考
藥平	一〇八	三〇名	三ヶ月	四	
豐寧	一四四	三〇	全	四	
當化	一二六	三〇	全	四	
圍場	二四六	三〇	全	八	
赤峰	三三九	六〇	全	六	
建平	二〇一	三〇	全	七	
凌源	一二九	三〇	全	四	
凌南	一九三	二〇	全	七	
青龍	二五六	四〇	全	七	

平泉	寧城	合計
一八四	五八	一、九六四
三〇	三〇	
三ヶ月	全	
六	二	五九

備考 一、教育實施ノ始期ヲ康徳三年一月トス
 二、各縣警察練習所ノ收容力又ハ治安其他ノ狀況ニ依リ豫定人員ヲ教育シ能ハサル人員ハ之ヲ承德地方警察學校ニ於テ教育ス

第二表 文盲整理ニ伴フ補充人員教育費概算表

- 一、所要經費 四六、四一五圓
- 內 譯
- (一) 學生津貼 四一、三一〇圓
補充人員一、三七七名 月額一〇圓三ヶ月
- (二) 庶務費 三、三〇五圓
消耗品費一ヶ月一人八角三ヶ月
- (三) 雜費 一、八〇〇圓
一縣年額一〇〇圓 一年 五縣
二年 六縣

第三表 文盲整理ニ伴フ退職手當所要額

官名	手當俸給	人員	所要額	備考
警佐	五〇〇〇	一五	三、二五〇〇	退職時ノ月俸三ヶ月分
巡官	三五〇〇	四四	四、六二〇〇	
警長	一八〇〇	一六〇	八、六四〇〇	
警士	一〇〇〇	一、七四五	五、二三五〇〇	
計		一、九六四	六、七八六〇〇	

各縣警察職員學力調查表

康德二年八月末現在
熱河省公署警務廳

縣 階 別	文盲ト稱スヘキ程度ノ者			文字ヲ解シ得ル者			事務ニ通スル者							
	警佐 巡官 警長 警士	計	警佐 巡官 警長 警士	計	警佐 巡官 警長 警士	計								
澤平縣	三一	七	九七	一〇八	三	四	七	五一	六五	一	四	七	一	二
豐寧縣	一	一	一一二	一二四	九	二	一一五八	一八八	三	三	六	四	一	一
隆化縣		一三	一一三	一二六	四	六	二四	四九	八三	三	八			一
圍場縣	四二〇	二〇	二〇七	二四一	五	五	一一	六七	九九	一		一	一八	一九
赤峰縣	一六	二七	三〇四	三三九	七	六	一三	三六	六二	八	一七	二		四
建平縣	三九	一四	一七五	二〇一	三	二	三五	九七	一四七	一	四	三	四〇	四八
凌源縣	一	三	一二五	一二九	三	六	六七	八二	五	三	二〇	一〇		四
凌南縣	八	八	一七七	一九三	七	七	八	五一	六六	八	六	一六		三〇
青龍縣	一	二六	二二九	二五六	二	八	一八	四三	七一	五	八	二〇		二三
平泉縣	四	一	三四	一四五	一	八	四	三四	四四		一		七	七八
寧城縣		七	五一	五八	一	六	三〇	五三	一七九	三	一〇	二		一五
合計	一五四	四二六〇	二七四	二九六四	三四八九	一六八八〇	五二〇九六	三八七	七七四	一六三	三五二			

六 康徳三年度ニ於ケル治安維持用彈藥
 交附ニ屬スル件
 燕 河 省 公 署

康徳二年度陸海軍維持用彈藥別表ノ通り交附相或タルモ當省ハ匪賊ノ騷
 擾ニ使ナル山嶽地帯ナルノミナラス西部及南部ニ於テ中華民國ト接壤
 セル關係上目下匪賊ノ被害各地ニ頻發シ警察官ハ之カ討伐ニ東京并西
 蒙日ナキ現狀ニシテ從テ其ノ所要彈藥モ豫期以上ノ數ニ上リツマアル
 ヲ以テ其ノ射耗ニ關シテハ常ニ細心ノ注意ヲ喚起スルト同時ニ治安
 維持會費ヲ以テ補給シツツアルモ尙所要ヲ充シ得サル狀況ニテ
 上遺憾ノ點不尠ニ付康徳三年度ニ於テハ別表ノ通り交附方配意相成

康徳三年度所要彈藥數

品 目	康徳三年度		備 考
	交附數	交附要求數	
六耗五銃實包	四〇,〇〇〇	八〇,〇〇〇	
七耗九銃實包	六〇,〇〇〇	一八〇,〇〇〇	
七耗七銃實包	三〇,〇〇〇	六〇,〇〇〇	
拳銃彈	三〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇	
計	一三三,〇〇〇	三二五,〇〇〇	

備考 一銃ニ付一ヶ年平均一〇〇發トス
 各縣所有武器調査表別紙

自康德二年一月射耗彈調查
至康德二年六月

縣名	種						計			摘要
	六	七	七	七	七	七	計	計		
承德	一、九四六	三、六八九	一、八五〇	九	二、四一四	四	三、〇八〇			
灤平	二、七八		二、八〇二		三、〇八〇					
豐寧	四、五九一	二、五〇	六、五六〇	一、四〇一						
隆化	八、七二		三、七八三	三、六五五						
圍場	三、五九	七、九四	九、五八	二、一一一						
赤峰	二、三三四		九、六〇三	一、九三七						
建平	六、七九二	四、〇〇〇	一〇、五六三	二、三五五						
凌源	一、六二〇	一、八五七	二、二五一八	四、二七〇						
凌南	五、三三六	一、一一二〇	三、四二一七	五〇、六七三						
青龍	二、三五九六		三、三九六	五、四九九二						
平泉	一、一七一	九、九二	三、二二四	五、三八七						
寧城	一、二八一		三、六七九	四、九六〇						
計	五〇、一七六	三、九四一	一、四六八	二、三六四	二	九	三、三四九			

備考 現在武器裝甲其他欄中口徑ノ略同シキモノニハ上記彈藥ヲ使用ス

熱河省各縣武器現在數調

康德二年九月調

縣名	小銃						計			拳銃		機關銃	總計
	六	七	七	七	七	七	計	計	其他				
承德	五	七〇	二九二		三六七	四二						四〇九	
灤平	三二		二四三		二八〇	八						二八八	
豐寧	一三一	六一	一九五	三	四九〇	二五	三					五一八	
隆化	二四		二四	一八九	二三七						一	二三八	
圍場	四六	四三	一二六	一七九	三九四		一					三九五	
赤峰	六		二七	一七九	二一二	一	二					二一五	
建平	三三		一一七	五九	二〇九	二七	五					二四一	
凌源	七	一三	一一八	二一	一六九	八	三				二	一八二	
凌南	四四	五八	二二八	四	三四二	一四					二	三五八	
青龍	九	九	四四	二二	八四	六	一				二	九三	
平泉	三九		二〇	五二	一一一							一一一	
寧城	五七		一一八	一一六	二九一	八					二	三〇一	
計	四三三	二、五四	一、六七〇	八、二九三	一、八六六	九七	五七	九				三、三四九	

計	寧城縣	平泉縣	青龍縣	凌南縣	凌源縣	建平縣	赤峰縣	圍場縣	隆化縣	豐寧縣	灤平縣	興隆辦事處 醫務科	縣別
27	1	1		1	1	1	1		1			1	警正
16	2	1	2	1	1	1	1	1	1	2	1	2	警佐
													屬官
26	2	2	2	3	3	2	2	8	2	2	2	1	巡官
7	2	3	1	1	1	4	1	2	3	1	1	1	警長
27	2	2	3	1	3	2	3	2	3	3	2	1	警士
78	6	5	8	6	8	5	8	6	6	8	6	6	計
			滿系警佐九內局長一					警佐滿系一三內局長一		警佐滿系八內局長一	警佐滿系九內局長一		備考

省各縣警察職員現員總括表

(康德二年六月末日)

×阿片代用作物獎勵並ニ指導費ニ關スル件

本熱河省ハ既述ノ如ク惠レサル地勢ト古來ヨリ遊牧主業ノ特殊事情ヨリシテ特産タル阿片、粟、高粱、豆類等ノ主要農産物ニ畜産ヲ加シ年額約八千萬元ニ對シ阿片ノミニテ二千萬元ヲ算シ全收入額ノ四割ヲ占ム故ニ阿片收入ノ増減如何ハ本省農民經濟ニ多大ノ影響ヲ及ホスハ論ヲ俟タサル處ニシテ今時政府ノ阿片栽培漸禁方針ハ本省ノ實情ヨリ見テ重要ナル問題ナリト云フヘシ

左表ニ依リ其ノ減收狀態ヲ見ルニ

年 度	作 付 面 積	收 獲 高 豫 想	備 考
大同三年度	五六五三三二畝	二〇〇〇萬元	一畝當收獲豫想平均三五元
原德二年度	三〇五〇〇〇畝	一、〇九〇萬元	

作付面積減少二六〇、三三二畝減收豫想高九一〇萬元

右ノ如ク概算自九〇〇萬元至一、〇〇〇萬元ノ減收ニシテ從來ノ主要農産物全收入ノ一割五分強トナリ農民經濟ニ及ホス影響甚大ニシテ斯クテハ農民ノ死活問題ヲモ惹起ス可ク之レカ代用作物ノ指導獎勵ヲ計ルノ急務ニ直面セリ而シテ本省管下ノ農業ハ其ノ地勢極メテ復雜ニシテ山間或ハ河岸ニ存スル僅少ナル平地ヲ利用スルノ外途ナキ實情ナレハ從來ノ農法ニテハ到底其ノ增收ヲ計リ得ス即チ進歩的農法ニ據リ集的農業ヲ指導シ前記減收補足ニ對シテハ主作物ノ外其ノ地方事情ヲ考慮シ果樹類或ハ藥用植物並ニ棉花栽培柞蠶飼育等ヲ代用シ因ツテ蒙ル農民經濟ノ緩和策ヲ講セントス

而シテ其ノ救済ヲ最モ効果的ニ導カンニハ前記代用作物ノ增收ヲ計ルハ勿論之レカ農産工藝ノ勃興ニ依リ可急的農民ノ覺醒ヲ促サントシ左記各號實行豫算ヲ計上セリ

棉花栽培指導獎勵費
 凌源縣、凌南縣、承德縣、灤平縣、興隆縣、青龍縣
 四、五〇〇圓

目	節	金額	算出		備考
			員數	單價	
棉花栽培獎勵費		四五〇〇圓			
印刷費		三〇〇〇〇	三〇〇〇部	一部一角	一縣五〇〇部宛配布四六判一〇〇頁
試作物補助費		三六〇〇〇〇	一八箇所	一箇所補助費二〇〇圓	一縣三箇所ノ試作場ヲ設ク
指導員講習旅費補助		六〇〇〇〇	六縣	一縣補助一〇〇圓	縣ヨリ技術員ヲ招聘スル場合ノ補助

藥用植物栽培獎勵費
 赤峰縣、圍場縣、豐寧縣、建平縣、寧城縣
 二、五〇〇圓

目	節	金額	算出		備考
			員數	單價	
藥用植物栽培獎勵費		二五〇〇圓			
試作場補助費		二〇〇〇〇〇	十箇所	一箇所補助費二〇〇圓	一縣二箇所ノ試作場ヲ設ク
指導員講習旅費補助		五〇〇〇〇	五縣	一縣補助一〇〇圓	縣ヨリ技術員ヲ招聘スル場合ノ補助

果樹類栽培獎勵費
興隆縣、承德縣、青龍縣、深平縣、凌南縣

三、七五〇圓

目	節	金額	算出		備考
			員數	單價	
果樹類栽培獎勵費		三、七五〇圓			
果樹苗木		七五〇.〇〇	二、五〇〇本	一〇〇本各種平均三〇〇〇	梨、林檎、栗、一縣五〇〇本ノ割運賃其他雜費ヲ含ム
購入費		二五〇〇.〇〇	五箇所	一箇所補助費五〇〇〇〇	一縣一箇所ノ試作場ヲ設ク
補助物		五〇〇〇.〇〇		一縣補助	縣ヨリ技術員ヲ招聘スル場合ノ補助
指導員講習旅費補助		五〇〇〇.〇〇		一縣補助	

柞蠶飼育獎勵費

二、七四八圓

興隆縣、承德縣、青龍縣

本柞蠶ノ飼育ハ當地方ノ特産トモ云フ可ク阿片ニ次ク有利事業ニシテ現今其ノ飼育熱旺ナレト指導機關ナキタメ何等ノ改良ナク之レカ指導獎勵ノ急務ナルヲ痛感ス

目	節	金額	算出		備考
			員數	單價	
柞蠶飼育獎勵費		二、七四八圓			
種繭購入費		一五〇〇.〇〇	一縣五〇〇圓	五〇〇.〇〇	一縣當リ五〇圓
柞樹種子		六〇〇.〇〇	一縣一石	一石二〇圓	運賃其ノ他雜費ヲ含ム
備品消耗品		三六〇.〇〇	三縣	一縣(月十圓)一〇〇.〇〇	
通信運搬費		一八〇.〇〇	六〇封度	一縣二〇封度六〇〇	松脂合劑一封度罐三〇錢
驅虫劑		二一六〇.〇〇	一縣二人三縣	月六〇.一ヶ年七二〇.〇〇	技術員一名助手一名 技術員月五〇 助手一〇

植林事業獎勵費 (熱河省綠化計劃豫算) 第一年度豫算額

熱河省公署

森林ノ經濟的價值ニ對シテハ列國等シク是ニ重點ヲ置ク處ニシテ如何ナル文化産業ノ施設モ本事業ヲ前提トセサレハ根本的開發ヲ期シ難ク特ニ本省ハ其ノ山岳面積大約一二六九八〇二五九畝ヲ有シ其ノ大部分ハ極メテ原始的ナル畜類ノ放牧ニノミ任セタルニ過キス一度大雨來ランカ山間ノ表土ハ洗流赤土ト化シ山麓及ヒ河岸ノ耕地ハ一朝ニシテ其ノ原形ヲ止メサル事情ニ鑑ミ是等産業治水ノ根本的開發上本事業ヲ遂行セントス而シテ本計劃ハ曩ニ提出ノ本省綠化促進案ト相俟ツテ左記豫算ヲ計上ス (熱河省綠化促進會第一期計劃案後送ス)

植林事業獎勵費

三〇、〇二〇圓

項目	金額	員算	數單	出價	備根	基
一般造林	三〇、〇二〇圓					
苗木費	五、五二〇、〇〇〇	三三六〇〇本	一〇〇本付			松苗一〇〇本ニ付一、六〇〇圓 落葉松、二、〇〇〇
苗木輸送費	五〇〇、〇〇〇					一般造林苗木輸送費其ノ他
其ノ他雜費	五〇〇、〇〇〇					
帝制記念造林	五〇〇、〇〇〇	一〇〇本付	一〇〇本付			柳及白楊樹苗(樟木用)
同輸送費	一、〇〇〇、〇〇〇					苗木輸送費其ノ他備品費
他雜費	一、〇〇〇、〇〇〇					
土地購入	九、一〇〇、〇〇〇					
補助費	九、一〇〇、〇〇〇					新設費購入及擴大苗圃費
維持費	一三、四〇〇、〇〇〇					苗圃維持費補助
其他	一三、四〇〇、〇〇〇					

熱河省綠化計畫彙算表

第一年度	第二年度	第三年度	第四年度	合計
三〇、〇二〇	五三、一六〇	五八、四〇〇	五八、四〇〇	二五三、二八〇
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇

熱河省公署

九、熱河省各縣產業機關新設費起債ニ關スル件
 阿片代作物ニヨル農民收入ノ減額ニ對シ其ノ地方事情ヲ考慮シ果
 樹類蔬菜類並ニ薄荷、除蟲菊等ノ藥用植物ヲ代作シ農民經濟ノ緩
 和策ヲ講セサル可カラス
 而シテ其ノ救済ヲ最モ効果的ニ導カンニハ前記代用作物ノ增收ヲ
 計ルハ勿論本省ノ如キ地勢並ニ特殊事情下ニ於ケル農業ニ對シテ
 ハ集約的文化技術ノ補導ヲ遂ケ農産工藝ノ勃興等ニ依リ農民ヲ覺
 醒セシメ一方減收ヲ償フ可キ副業獎勵ニ俟タサル可カラス而シテ
 本省内ニハ畜産ヲ主體事業ト成ス地方モ存スレハ其ノ地方的事情
 ニ依リ方途ヲ決スルハ勿論ナレトモ概ネ農畜混同法ヲ以テシ年々
 衰微ノ途ヲ辿リツツアル家畜ノ品質改良繁殖等ニ專念シ是レカ實
 行ヲ期セサルヘカラス
 各縣ニ於ケル機關設置並ニ所要豫算左表ノ如シ

灤平縣			承德縣				平泉縣		
苗圃	農事試驗場		苗圃	畜產試驗場	農事試驗場	棉花並二果樹試驗場		農事試驗場	棉花並二果樹試驗場
一〇〇〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇	三八五〇〇	五〇〇〇	一三〇〇〇	八五〇〇	一二〇〇〇	一二五〇〇	七千五百元
全	全		全	全	全	全		全	全

凌源縣		青龍縣		凌南縣			縣名
種畜場	棉花並二果樹試驗場		農事試驗場	棉花並二果樹試驗場	種畜場	農事試驗場	棉花並二果樹試驗場
一九〇〇〇	七〇〇〇	一二五〇〇	五〇〇〇	七五〇〇	二四〇〇〇	七〇〇〇	五〇〇〇
全	全		全	全		畜舍並二事務所建設及設備費	土地買收及設備費
						苗木購入及事務所建設	
						並二經營概算額	初年度建設費
						元	元
							備
							考

寧城縣			建平縣			赤峰縣		
農產工藝品製造場	畜產試驗場		農產工藝品製造場	農事試驗場		農產工藝品製作場	農事製作場	種畜場
二三〇〇〇	一〇〇〇〇	一三〇〇〇	一八五〇〇	一〇〇〇〇	八五〇〇	二二〇〇〇	一〇〇〇〇	五〇〇〇
元	元	元	元	元	元	元	元	元
全	全		全	全		全	全	全

圍場縣		豐寧縣			隆化縣			
農事製作場	畜產試驗場		農產工藝品製作場	農事試驗場		農事試驗場	種畜場	棉花並果樹試驗場
二八〇〇〇	一三〇〇〇	一八五〇〇	一〇〇〇〇	八五〇〇	二四〇〇〇	五〇〇〇	七〇〇〇	一二〇〇〇
元	元	元	元	元	元	元	元	元
全	全		粉製造器械其他器具購入並 事務所建設	全		全	全	全

本計劃ニ基ク豫算明細書ハ貴廳ニ於テ起價認可申請ニ際シ各縣ヨリ提出セシムルモノトス

興隆縣	棉花並ニ果樹試驗場	
	農産工藝品製作場	
	一〇〇〇〇	一三〇〇〇
	二二〇〇〇	元
	全	全
	二七二五〇〇	元

熱河省輸入組合設立計畫ニ關スル件

熱河省公署

(一) 設立趣旨

由來熱河省ハ地域的ニハ僻陬ニ位シ、政治的ニ取殘サレタル特別區域タケニ諸般ノ施設他省ニ比シ甚ダシク劣レルモノアリ。

殊ニ本省商工業ニ至リテハ全ク不振ノ状態ヲ續ケ來リシモ、茲ニ滿洲國ノ建設ナルヤ、國內經濟狀勢ハ一變シ、本省ニ於テモ國境長城線ニ關稅障壁ハ設ケラレ、一方急激ナル交通機關ノ進展整備ハ、本省商取引特殊系統ノ變化ヲミル。即チ從來北平ト承德、天津ト平泉ト赤峰、天津ト錦州ト三線ハ奉天、營口、胡蘆島方面ヨリノ取引系統線之ニ代リ俄然殷盛ヲ極ムルニ至レリ。

爾來統制アル新面ノ進出輻輳スル者漸ク多キヲ加ヘ、日ニ月ニ諸産業開發勃興ノ氣運顯著ナルモノアリ、今ヤ本省商工業ハ一大轉換期ニ直面シテキル。

斯カル狀勢ヲミルトキ益々中小商工業者ノ覺醒ヲ促スモノアリ、早急ニ統制アル結束ヲ必要トスル所以テアル。サレハ省内一般業者

ハ永年ノ商習慣ニ馴染ミ最近ノ新情勢ニ順應出來ス稍モスレハ、舊
套ヲ脱シ得ス因循姑息スルノミ。殊ニ新業指導保護ノ任ニ當ルヘキ
中心機關、商務會亦其ノ眞目的ニ適合セサル點ナシトセス、沈滯ニ
在ルト雖モ、今ヤ之カ内容充實ヲ計リ新業發展ノタメ確固タル中心
機關トシテ活躍スヘキトキテアル。

以上ノ大勢ニ鑑ミ茲ニ本省中小商工業者發展ノタメ商務會ヲ中心
トシタル統制アル組合ヲ設立シ、圓滑ナル大量取引ニヨル物價ノ低
廉ヲ畫リ、優良商品ノ進出ノ機ヲ與ヘ、更ニ省内物産ノ捌キヲ合
理的ナラシメ、而シテ民生ノ基礎ヲ確立セント企圖ス。

二、專業方針

第一年度計劃トシテ先ツ承德、赤峰、圍場、凌源、平泉ノ五縣ニ
組合事務所ヲ試設シ專業成績ノ如何ニヨリテ第二年度ニ本省各縣ニ
設置セントス。而シテ承德ハ主ニ灤河地區交易ヲ中心トシテ將來ノ
北支ト結ビ、圍場ハ多倫ヲ中心トスル察哈爾方面トノ交易ニ結ビ、
赤峰ニ於テハ林西ヲ中心トスル内蒙交易ニ備ヘ、凌源、平泉ハ沿線

ニ於ケル奉天方面トノ取引ニ備ヘントス。

(三) 事業項目

1. 商店經營並ニ商習慣ノ改善
2. 仕入ノ斡旋委託販賣ノ仲介及ヒ販路ノ擴張
3. 運賃諸掛ノ低減
4. 組合員相互扶助
5. 其他前記各項ニ附帶スル事項

(四) 資金關係

1. 事業補助金
2. 設立補助金
3. 組合員讓出金
4. 2.ハ地方勸業費ヨリノ補助ヲ仰ク

組合員相互ニ一口若干圓トシテ讓出スル

(五) 組合加入者資格

現ニ該縣内ニ在リテ商工業ヲ營ミ、組合ニテ適當ト認ムルモノニ限
ル。

內補助金

款 地方勸助費 五六、二五〇元
 項 輸出入組合設置補助費 五六、二五〇元

目	節	金額	備考
專業費	組合專業補助費	五〇、〇〇〇元	一組合一〇、〇〇〇元
修繕費	事務所改築費	一、五〇〇	一組合 三〇〇元
準備費	印刷費	五〇〇	設立趣旨及其他書類
	通信費	二五〇	
	調查費	一、〇〇〇	各縣商業狀況調查
	交涉連絡費	一、〇〇〇	各機關下交涉連絡
設備費	什器	五〇〇	机、椅子其他
備品		五〇〇	

文具費	五〇〇元
雜費	五〇〇元
計	五六、二五〇元

民衆學校補助費増加要望ノ件

文化ノ向上ハ一般民衆ノ智識程度低ク、之ガ發育ニハ特別ノ注意ヲ拂ハザルベカラズ

廣徳元年度ニ於テ文教部ヨリ全省合計一、五三〇圓ノ補助費ヲ仰

キ各縣ニテ夫々施設ヲナシ其ノ成績ノ見ルベキモノアリタリ
 三年度ニ於テハ更ニ別表ノ通り増加シ以テ民衆ノ啓蒙ヲ圖ラント
 スルモ貧弱ナル縣ノ豫算ヲ以テシテハ全經費ノ二割ヲ最大負擔トナ
 ス、希クバ殘額八割即チ二万九百參拾六圓ノ補助ヲ仰ギテ民衆學校
 ノ新設及擴張ニ資セントス

民衆學校開設計畫表

縣別	豫定校數	經費年額	備考
承德	八	三、二八〇	一校一ヶ月三〇圓、一班三ヶ月年四班冬季一校新炭費月一〇、五ヶ月合計一校一ヶ月四一〇圓
隆化	四	一、六四〇	
豐寧	四	一、六四〇	
寧城	四	一、六四〇	
圍場	六	二、四六〇	
赤峰	四	一、六四〇	
建平	四	一、六四〇	
凌源	六	二、四六〇	
凌南	四	一、六四〇	
青龍	六	二、四六〇	
平泉	五	二、〇五四	

縣名	第一次補助金	第二次補助金	合計	備考
承德	五〇〇		五〇〇	興隆一〇〇ヲ含ム
灤平	一〇〇		一〇〇	
隆化		一八〇	一八〇	
豐寧	一〇〇		一〇〇	
寧城		一一〇	一一〇	
圍城		五〇	五〇	
赤峰				
建平		八〇	八〇	
凌源	五〇		五〇	
凌南	八〇		八〇	
青龍		一五〇	一五〇	
平泉		一三〇	一三〇	
合計	八三〇	七〇〇	一、五三〇	

康徳元年度民衆學校補助金配當表

省	興隆	合計
立	一、二三〇	六三
一	七五〇	二六、一七〇
計	五、〇〇〇	一、〇〇〇

五ヶ月一五〇圓、各縣補助金一、〇〇〇圓、興隆一、〇〇〇圓、合計一、〇〇〇圓